

地域とともにある学校づくりをめざして

I 研究の内容

1 研究の方法

(1) 研究の柱

- ・学校と保護者，地域との関わり方・提携の方策について
- ・学校・子どもたちが，地域の人々や保護者とのつながりを生み出す実践
- ・情報の共有や発信，研究成果の共有

(2) 部員は各校の実践を報告し，それについて情報の交換・協議する。

夏季学習会では甲州市役所文化財課の方を招聘し，和歌刻書土器について学ぶ学習会を開く。常任講師の先生方に，常時ご指導・ご助言をいただく。

(3) 保護者・地域との提携について，授業実践を通し研究を深める。

2 実践発表と授業研究

[実践発表…各校での保護者・地域住民と提携した教育活動や行事の実践]

(1) 日下部小学校

- ・学校と地域・保護者との関わり方・連携の方策について
- ・子どもたちが地域の人々や保護者とのつながりを生み出す実践について

(2) 塩山南小学校

- ・保護者地域住民と提携した児童会活動について（みなみっこまつり）

(3) 塩山北小学校

- ・児童会活動「大先輩とのふれあい集会」について

(4) 岩手小学校

- ・地域と連携した学校行事や児童会活動について（岩手小学校太鼓，世代間交流事業）

(5) 大和小学校

- ・単元構想をもとにした授業計画，生活科，総合的な学習の時間の授業実践について
- ・地域に根差した活動について

[夏季学習会] 「和歌刻書土器について」甲州市役所文化財課 入江 俊行 様

[授業研究]

(1) 小5 総合的な学習の時間

「ころ柿活性化プロジェクト～地域の農業と伝統的な産業を通して」

那須 美佳 先生（井尻小）

地域の伝統的な産業である「ころ柿づくり」について調べることで，ころ柿

づくりのすごいところだけでなく、抱える課題に目を付け「ころ柿活性化プロジェクト」を立ち上げた授業実践。社会科での学習や「ころ柿集会」などの特別活動を通して身に付けた知識や技能がしっかりと生きており、様々なアイデアから学習が広がる様子を見ることができた。ゲストティーチャーを依頼する際には甲州市学校支援地域ボランティアの地域コーディネーターの小宮山茂樹先生にご協力いただき、JAの方をお招きすることができた。

(2) 小3 総合的な学習の時間「ぶどうづくり探検隊」

志村 克人 先生（菱山小）

地域の伝統的な産業である「ぶどうづくり」について、体験的な学習を通して学んだことを、2年生に向けて発信した授業実践。学んだことを、生き生きと発表する3年生の姿を見ることができた。地域の方から学ぶことで、地域への興味関心や愛着を膨らませるためのきっかけとなることが示された授業であった。また、コミュニティースクールの取り組みによって、「子ども」「学校」「地域」それぞれの立場を大切にする視点を取り込まれた実践であった。

II 成果と課題

1 成果として

- 各学校の実践発表を行った。各校における特色ある様々な連携について情報交換することができ、自校の活動の参考になったり、地域を知る機会になったりした。
- 夏季学習会では、甲州市役所文化財課の方を招聘し、「和歌刻書土器」の資料を見せていただいたり、最新の知識を教えていただいたりすることができた。身近な地域の遺跡について知識が深まり、学んだことを教材として活用することもできた。
- 授業研究では、地域素材を教材化し、地域の方から学ぶ中で、地域と共にある学校づくりにつながる学習を実践することがで

2 課題として

- すべての学校がコミュニティースクールとなっていくことを考慮し、地域素材・特色の教材化より、一步前進していく必要がある。授業研究においては、ゲストティーチャーを招いての授業にとらわれず、地域との繋がりから学んだことを学習に生かすような授業の形も考えられる。

III 成果物

- 学習指導案・地域資料等
- 各校の実践レポート

(部長 関口 加代子)